

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12030010

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	[全体計画内容] ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A	
単位施策	4 図書サービスの充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	読書促進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	5 保健福祉課	
事業指標	町民1人あたり貸出冊数		8 保育所	
事業目標	町民1人あたり貸出冊数10冊	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有	関係例規・法令名	無	
住民協働	読み聞かせ等によるボランティアの活用	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	●図書サービスの充実 図書(絵本含)購入 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 3,400冊 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 3,400冊 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 3,400冊 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 3,400冊 ブックスタート・配本 移動図書館	図書(絵本含)購入 3,400冊 ブックスタート・配本 移動図書館
	計 画 事 業 費	事業費(千円) 25,750	5,150	5,150	5,150	5,150
実 績 事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金 0				
		道支出金 0				
		地方債 0				
		その他 0				
		一般財源 25,750	5,150	5,150	5,150	5,150
関 連 事 項	財 源 内 訳	事業費(千円) 5,147	5,147	0	0	0
		国庫支出金 0				
		道支出金 0				
		地方債 0				
		その他 0				
	一般財源 5,147	5,147				
	【評価・実績】	(実施内容等) 図書購入(2,934冊)、絵本購入(469冊) 寄贈図書(79冊) ブックスタート 5回実施、24人に配付 配本～雄武小 年間2,880冊 豊丘小 年間1,450冊 移動図書館 265人利用、378冊貸出 ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊	町民1人あたり貸出冊数10冊
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 100%	0%	0%	0%	0%
		全体達成率 20%	20%	20%	20%	20%
		事業進捗状況 ☆☆☆				

事業名 読書促進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	石井 弘道
	評価者 作成者 職氏名	教育振興課長補佐	澤田 朋朗

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	図書購入冊数3,400冊、町民1人あたり貸出冊数10冊								
【抱える課題やニーズは】	図書の計画的整備、企画展示の開催などによる図書館サービスの向上に努めているが、施設上の課題等の要因により、図書館の魅力を十分に引き出すことができていない。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民のニーズに応じた図書の整備及び蔵書構成により、読書活動の推進や図書館サービスの向上を図る。	① 図書購入冊数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成25年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>3,400冊</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>3,403冊</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.1%</td></tr> </table>	目標年度	平成25年度	目標値	3,400冊	実績値	3,403冊	達成度	100.1%
目標年度	平成25年度										
目標値	3,400冊										
実績値	3,403冊										
達成度	100.1%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	読書活動の推進や図書館サービスの向上を図ることにより、町民誰もが居心地のよい場所として利用することができ、暮らしに役立つ優しい地域の情報拠点となり得る。	② 1人あたり貸出冊数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成25年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10冊</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>6.8冊</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>68.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成25年度	目標値	10冊	実績値	6.8冊	達成度	68.0%
目標年度	平成25年度										
目標値	10冊										
実績値	6.8冊										
達成度	68.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①図書購入冊数(絵本含む)	図書購入冊数~3,403冊(目標値対比 3冊の増、前年度対比 317冊の減)									
	②年間貸出冊数	年間貸出冊数~32,288冊(前年度対比 3,695冊の増)									
	③ブックスタート・配本	ブックスタート~「はじめてのお誕生会」の場で5回実施し、24人に配付。 配本~雄武小学校へ1ヶ月240冊・年間2,880冊、豊丘小学校へ100冊を7ヶ月、150冊を5ヶ月・年間1,450冊、計4,330冊を配本した。									
	④移動図書館	移動図書館~沢木地区151人・230冊、幌内地区114人・148冊、計265人・378冊貸出した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域の情報拠点として位置付けられる図書館において、蔵書を充実し図書館利用を促進することは、人づくり、ひいてはまちづくりに寄与し、町民の生涯学習の推進、地域の活性化のために必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	指標における1人あたりの貸出冊数は目標達成に至っていないものの、前年度対比0.9%の伸びとなり、着実に貸出冊数は増加していることから、町民ニーズに応じた図書の整備及び蔵書構成、企画展示実施の効果が現れており、生涯学習の推進のため有効な事業である。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	図書購入にあたっては、選書過程における町民ニーズへの対応や購入冊数等の精査を行っており、町民ニーズを満たすため必要なコストであり、効率的に執行している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民誰もが居心地のよい場所として利用できる空間であるとともに、町民のニーズに応じた図書の整備を図っていることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
購入冊数については、施設の課題等の現状を踏まえた計画的な整備、1人あたりの貸出冊数は目標達成に至っていないものの、前年度対比0.9%の伸びを示し、町民ニーズに応じた図書の整備及び蔵書構成、企画展示実施の効果が現れており、計画どおりの事業を展開することができた。		



継続/現状維持		
施設の課題等の現状を踏まえた計画的な図書購入のもと、開架図書や企画展示の充実等により、町民ニーズに対応した図書館サービスのさらなる向上に努める		

※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止